ROOM MATE

CPRM（VRモード）対応

9インチワンセグ付DVDプレーヤー
EB-RM901DV

取扱説明書

保証書添付

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
●本機の性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使い頂くために、ご使用前にお読みください。
お読みになった後は、保証書付ですので大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
●保証書に、「お買い上げ日、販売店名」などの記入があるかを必ずお確かめください。
製品の性能及び機能に関する変更におきましては個別にお知らせすることはありません。
実際の設定及び使用方法が本マニュアルに記載されているものと異なる場合があります。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

電源を入れる前に…	ディスク用のピックアップ保護カバーを取り外してください。 ディスクトレイを開けると中央部にピックアップ保護用カバーが取付けてあります。 取り付けたままで電源を入れると機器の破損につながります。 電源を入れる前に必ず取り外してください。
	電源起動時には側面の主電源スイッチをONにしてください。 主電源スイッチがOFFになっているとすべての操作は受け付けません。
テレビを見る前に…	テレビをご覧になる前にアンテナの設定が必要です。アンテナが接続されていないとテレビをご覧になることができません。 アンテナは受信環境の良いところに設置してください。 地域によっては受信環境の悪い場所もございます。
	テレビを初めてご覧になる前にスキャン操作が必要です。 スキャン操作はお使いの地域で受信可能な放送局を探し、登録する作業です。 この操作を行なわないとテレビ放送を受信することはできません。
各種メディアを再生する前に…	市販のDVD/CDディスク以外のレコーダーやパソコンなどで作成したデータの再生につきまして、ご自身で作成されたメディアやファイルは作成環境も多岐に渡るため、本書に記載された対応形式であっても再生できない場合もあります。デジタル放送を録画したCPRMディスクはVRモードのみ対応可能です。 CPRMディスクは読み込みに時間がかかったり、認識できない場合もあります。 ※ブルーレイディスクは再生できません。
AV出力機能	外部機器へ映像を出力することが出来ます。

目　次

・はじめに　・・・・・・・・・・・P1
・安全上のご注意　・・・・・・・・・・・P2
・使用上のお願い　・・・・・・・・・・・P6
1．本体・リモコン各部名称・機能　・・・・・・・・・・・P11
　本体の各部名称・機能　・・・・・・・・・・・P11
　リモコンの各部名称・機能　・・・・・・・・・・・P15

2．リモコン・本体の準備及び接続　・・・・・・・・・・・P20
　各種準備、接続についてまとめてあります。
　ここで紹介する使用法を守り、正しくお使いください。

3．TVモード（テレビ）で再生　・・・・・・・・・・・P25
　テレビを視聴する前に、必ず「スキャン」をしてください。
　スキャンをしないとテレビ放送の受信はできません。

4．DVDモード（DVD/SDカード/USBメモリー）で再生　・・・・・・・・・・・P29

5．AVモード（外部入力）で再生　・・・・・・・・・・・P34

6．音楽CDファイルの保存　・・・・・・・・・・・P35

7．主な仕様　・・・・・・・・・・・P36

8．地上デジタル放送チャンネル一覧表　・・・・・・・・・・・P37

9．困ったときは（故障かな？と思ったら）　・・・・・・・・・・・P39
　使用上の不具合がある場合は、こちらでご確認ください。

・保証書　・・・・・・・・・・・巻末

はじめに

この度は当社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。本製品を安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくご使用ください。
本取扱説明書の最終ページに製品保証書が付いております。本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。

セット内容

以下が揃っているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。
また、改良のため予告無く製品内容が変更されることもありますので予めご了承ください。

- ●DVDプレーヤー本体　×1
- ●リモコン　×1
- ●単4形乾電池（リモコン用）　×2
- ●家庭用AC電源アダプター　×1
- ●車載用シガー電源アダプター　×1
- ●専用AVケーブル　×1
- ●車載用アンテナ　×1
- ●車載専用ケース　×1
- ●取扱説明書　×1

使用上の注意

●本製品のACアダプターの電圧がコンセントの電圧と合っているかを確認してください（AC100-240V）。
●クリーニングする場合、シンナー、ベンジン、アルコール等は使用しないでください。
●長期間使用しない場合はコンセントを抜いて保管してください。
●夏の暑い車中や直射日光のあたる場所、火気の近く等、極端に温度の高い場所での使用や放置はおやめください。変形や故障の原因となります。静電気の多い場所やほこりの多い場所、風呂場等の水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はおやめください。また、濡れた手で操作をしないでください。ショートによる故障や感電の原因となります。
●分解や改造は行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。ご自身による分解や改造が原因で故障した場合、修理をお断りいたします。
●落としたり、踏んだり、加重や衝撃を与えたりしないでください。
●本製品から異臭がしたり、煙が出たり、異常な音がしましたら、電源アダプターをコンセントから抜いて、速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。
※お問い合わせ先は本書巻末の保証書に記載してあります。
●USB端子を搭載しておりますが、ストレージ以外の製品（通信用装置など）を接続して使用することはできません。またストレージであっても、USBからの電力で駆動する機器は、消費電力が大きすぎるため、使用できない場合があります。
●液晶パネルは高度な技術で製造されていますが、稀に常時点灯もしくは消灯するドットが存在します。これは故障ではありませんので、予めご了承ください。
●小さなお子様がご使用される場合には本製品の取扱を十分に理解した大人の監視、指導のもとでご使用願います。

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。下記の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の意味

表示	表示の意味
⚠危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
⚠警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
⚠注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

■図記号の意味

図記号	図記号の意味
禁止	“⃠ ”は、禁止(やってはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	“ ● ”は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	“△”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

*1 :重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 :傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3 :物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

異常を感じたとき

⚠警告

●煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

●内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店またはサービスセンターに点検をご依頼ください。

●落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店またはサービスセンターに点検をご依頼ください。

●電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店またはサービスセンターに交換をご依頼ください。

使用するとき

●修理・分解・改造しないこと

火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサービスセンターにご依頼ください。

●内部に異物を入れないこと

針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●雷が鳴り出したら本機やACアダプターに触れないこと

感電の原因となります。

●水に濡らしたりしないこと

火災・感電の原因になります。飲み物をこぼしたりしないでください。また雨天、降雪時や海岸、水辺でのご使用時は特にご注意ください。

●飛行機内で使用の際は、航空会社の指示に従うこと

航空法で、離着陸時に使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運航装置に影響を与え事故につながる恐れがあります。

●ディスク用のピックアップに眼を近づけたりレーザー光を見ないこと

レーザー光は見られないようになっていますが、万が一故障や異常によってレーザー光が発光された場合に見つめたりすると視力障害の原因となります。

●歩行中や乗り物を運転しながらの使用はしないこと

交通事故の原因となります。

⚠注意

●変形、ひび割れ、接着剤で補修、シール等を貼付けたディスクは使用しないこと

ディスクは高速回転します。飛び散ってけがや故障の原因となります。

●ヘッドホン、イヤホン等をご使用になるときは音量をあげすぎないこと

大きな音量で聞くと聴覚機能に悪影響をあたえることがあります。

●ディスクが回っているときにディスクには触れないこと

けがや故障の原因となります。

●液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないこと

禁止

中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。

設置するとき

⚠警告

●屋外や風呂、シャワー室など水のかかる恐れのある場所には置かないこと

風呂、シャーワ室で使用禁止

火災・感電の原因となります。

●ぐらついたり傾いた所など不安定な場所や振動のある場所には設置しないこと

禁止

本機が落下して、けがをしたり、故障の原因となります。

●ひざの上などで使用するなど肌にふれないこと

禁止

低温やけどの原因となります。
（低温やけどは体温より高い温度のものを長時間あてていると発生するやけどです。）

⚠注意

●温度の高い場所に置かないこと

禁止

直射日光の当たる場所・閉め切った車内、ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります・

●湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災や感電の原因になります。

●風通しの悪い場所で使用しないこと。

禁止

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、温度上昇により、動作不安定になることがあります。

●本機を移動させる場合は、ACアダプターやその他外部接続線をはずすこと

指示

配線を抜かずに運ぶとコードが傷付き火災・感電の原因となったり、落下によるけがの原因となることがあります。

ACアダプター/シガーアダプターについて

⚠警告

●ACアダプター/シガーアダプターを分解、改造、修理しないこと

火災・感電の原因となります。

● ACアダプター/シガーアダプターは付属のものを使用すること

指定以外のACアダプター、シガーアダプターを使用すると、火災・故障の原因となることがあります。

●アダプターのコードは傷付けたり、加工したり、加熱したりしないこと
・引張ったり、重いものをのせたりはさんだりしないこと
・無理に曲げたりねじったり束ねたりしないこと

火災・感電の原因となります。

●シガーアダプターはDC12V～24V対応です。電源変換器は使用しないこと

電圧変換器（DC-DCコンバータ）を使用すると故障の原因になることがあります。

●時々ACアダプターを抜いて接点をきれいに掃除すること

電源プラグの絶縁低下により火災の原因になります。

⚠注意

●ぬれた手でアダプターを抜き差ししないこと

感電の原因となります。

● ACアダプターをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

●旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

●付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

● ACアダプターはコンセントの奥まで確実に挿し込むこと

確実に挿し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

使用上のお願い

取扱いについて

●液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
●引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルに傷がつかないようにしてください。
●殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
●長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
●普段使用しないときは、ディスクを取り出し電源を切っておいてください。
●長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。

置き場所について

●本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所や傾いている所、走行中の車内など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
●直射日光のあたる場所、熱器具の近く、閉め切った車内など温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。
●本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置いて使用する場合、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れについて

●本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
●液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

レーザー製品について

●本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店にご依頼ください。
●本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行なうと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
●本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

結露(露付き)について

結露(露付き)とは、よく冷えた飲料水をコップにそそぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露(露付き)”といいます。同じような現象として、製品内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

●結露に注意する

・本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所に置いたとき
・夏季に冷房のきいた部屋・車内などから急に温度、湿度の高い場所に移動したとき
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

●結露がおきそうなときは、本機をすぐに停止する

結露がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

お車での使用について

●移動中、運転中の視聴および操作は大変危険ですのでおやめください。
本体及びアンテナは運転に支障が出ない位置に設置してください。
車種によっては取付けができない場合があります。

●誤った電源を使用すると故障やショートの原因となります。必ず付属の車載用シガーアダプターをご使用ください。付属のシガーアダプターはDC12V-24V対応です。電圧DC-DCコンバータ等の電圧変換器は使用しないでください。

●自動車のエンジン始動時は、シガーソケットからの電源供給が不安定です。本製品を車載で使用する場合、DCアダプターを差し込んだままエンジンを始動すると、DVDプレーヤー本体に無理な負荷をかけ故障の原因となる場合があります。機器の接続は、エンジンがかかった状態で行なってください。また、電源分配機に接続していると電源供給が不安定なため正常に動作できない場合があります。

●真夏・真冬の車内等、過酷な状況下での使用や放置は故障や事故の原因となり、非常に危険です。絶対におやめください。

●移動や引っ越し等により初期設定でスキャンをした地域の外に出ると、それまでにご覧になっていたチャンネルを受信できなくなります。視聴地域が変わったら、もう一度スキャンをやり直してください。

●大きな建物のそばや山陰、トンネル内等では、電波の受信状況が悪くテレビが映らなくなることがあります。その場合は、電波の受信状況が良い場所に移動してください。

●シガー電源アダプターの挿抜は真っ直ぐにおこなって下さい。

DVDやCD及び各種メディア再生について

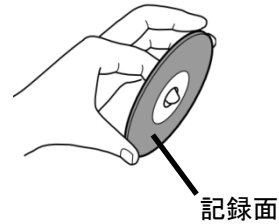
●ピックアップのヘッド(ディスクを読み取るレンズ)には触れないでください。

●ディスクトレイにはDVD、CD以外の異物を挿入しないでください。また、USBスロットとSD/MMCスロットに異物を挿入しないでください。

●ディスクをセットする時は1枚だけを使用し、読み取り面を下にして中央のターンテーブルにカチッと音がするまで差し込んでください。

●CD-R、DVD-R及び各種メディアを使用する場合は、ファイルの種類または作成されるレコーダーやPC等の互換性やデータの保存方式によって再生できないものがあります。そのためすべてのメディアの再生は保証できません。
●本機で再生する前に、必ず作成したレコーダーでファイナライズ処理をしてください。
●大きいサイズのデータや大容量メディアについては読み込みが遅かったり、認識できない場合があります。
●本機で再生できるCPRMディスクはVRモードのみです。
●デジタル放送を録画したVRモード・CPRMのディスクは読み込みに時間がかかったり、記録状態によっては認識できない場合もあります。
●USB端子に接続できるのはUSBメモリーストレージです。通信機器などPCで使用するデバイスには対応しておりません。

ディスクの取り扱いについて

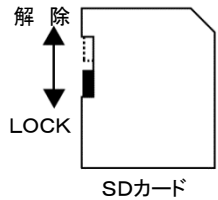


●ディスクを持つ時は、図のように記録部分には触れず、ディスクの端を挟んでお取り扱いください。指紋、ホコリ、傷等によりディスクの読み込みができない場合があります。
●ディスクのラベル面にボールペン等で書き込まないでください。
●ディスクに紙やシールを貼らないでください。
●ディスクを曲げたり落としたりしないでください。
●ディスクについた指紋やほこりなどの汚れは、柔らかい布でディスクの中心から外周に向かって軽く拭きとってください。

メモリーカードについて

●メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。
対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。
●大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●メモリーカードの取扱い方については、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
●通常のご使用でデータが破損(消滅)することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損(消滅)することがあります。記録されたデータの破損(消滅)については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●メモリーカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。

●メモリーカードへの読出し中は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
●メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
●強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
●高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
●メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。
●メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには、静電気防止ケースに入れてください。
●直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。
●ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
●本機から取り出したメモリーカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。
●メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。
●大切なデータを誤って消去しないために、
カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態(書込み禁止状態)にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。



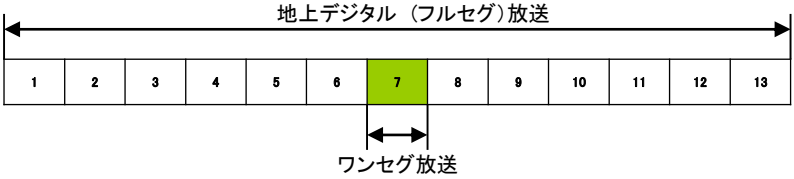
SDカード

テレビ受信について

●ご購入後、はじめてテレビをお使いになる場合はスキャン操作をしてください。
スキャンは使用する地域で受信可能な放送局を記憶させる操作で、テレビを視聴するために必ず必要な設定です。
●スキャン操作ははじめて使用する時以外にも移動や引っ越し等で受信可能な放送局が変わる場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合等にも再度設定する必要があります。
●本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送(ワンセグ)を受信するためのものです。海外ではご使用になれません。また国内であっても地上デジタル放送を開始していない地域では番組を受信できません。
●建物の陰や窓際から遠い室内や地下等では電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。

ワンセグ放送について

「ワンセグ」は地上デジタル放送のひとつで、移動中でも受信できるサービスです。
地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割し使用しています。そのうち一つのセグメントを利用して放送していることから「ワンセグ」と呼んでいます。
詳しくは社団法人デジタル放送推進協会（Dpa)のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）をご覧ください。
放送エリアの目安は（http://dpa-tv-area.jp/）にてご確認いただけます。



フルセグに比べ、ワンセグはデータが軽いため弱い電波でも
受信が可能で高速移動中でも広範囲で受信が可能です。

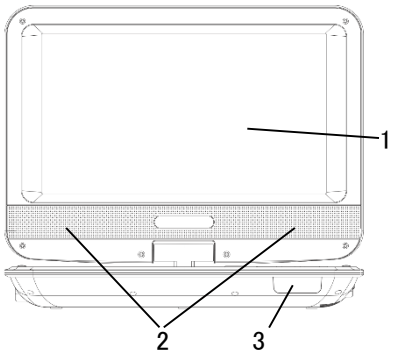
ワンセグ視聴中のご注意

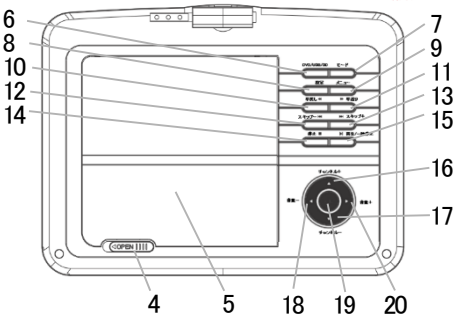
●地域により受信可能な放送局は異なります。必ずご使用する地域で放送局のスキャン操作を行い受信できる放送局を設定してください。
放送エリア内でも、周囲の地形や建物などにより電波が届かない場所やトンネル、建物内などでは受信できないことがありますのであらかじめご了承願います。
●移動中に電波が弱いエリアに入ると音声や映像が乱れたり、画像の静止、黒い画面になることがあります。デジタル放送の場合、アナログ放送のように乱れた映像でもかろうじて視聴できる、というような状態にはなりません。アンテナ角度の調整や電波状態の良い場所に戻ることで改善されます。
●デジタル放送の場合、実際の時刻と番組にタイムラグ（時間のずれ）が発生します。
正確な時刻どおりに番組が始まらない等は、放送特性上のものであり機器の故障ではありません。（数秒の遅れが発生します）

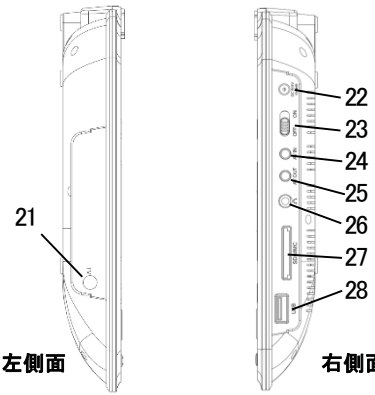
1. 本体･リモコン各部名称･機能

本体の各部名称・機能

本体各部の名称







左側面　　**右側面**

1. LCD(液晶)画面
2. 内蔵スピーカー (2ヶ所)
3.リモコン受光部と点灯表示
4.開くボタン（ OPEN ） : ディスクカバーを開く
5.ディスクカバー
6.DVD/USB/SD 切換ボタン
7.モード ボタン
8. 設定ボタン
9. メニュー ボタン
10. 早戻し(◀◀)
11. 早送り(▶▶)
12.スキップ－(⏮)
13.スキップ＋(⏭)
14. 停止(■)
15. 再生／一時停止(⏯)
16. チャンネル ＋（▲）
17. チャンネル －（▼）
18. 音量 －(◀)
19. 決定ボタン
20. 音量 ＋(▶)
21. アンテナ接続端子(75Ω)
22. DC入力端子(9V)
23. 電源スイッチ(ON⇔OFF)
24. AV入力端子
25. AV出力端子
26. ステレオイヤホン端子 (🎧)
27.SDカード挿入口(SD/MMC)
28.USBメモリー接続口(USB)

※イラスト、画像が実物と
異なる場合があります。

本体の各部機能

No.	名称	表示	機能
1	LCD画面	―	9インチ液晶画面
2	内蔵スピーカー	―	スピーカー x2
3	リモコン受光部と 点灯表示	―	・リモコン受光部 ・電源の点灯表示
4	開くボタン	◁OPEN	ディスクカバーを開く
5	ディスクカバー	―	ディスク収納部のふた
6	DVD/USB/SD切換	DVD/USB/SD	DVDディスク/USBメモリー/SDカードの 切換
7	モード切替	モード	再生モードをDVD/AV/TV の順に変更します。
8	設定ボタン	設定	DVDモード時：各種設定のページが表示されます。方向ボタン（◀▶）で選択し、方向ボタン（▼▲）で下位メニューを選択します。もう一度「設定」ボタンを押すと、元の画面に戻ります。（詳細説明31-34ページ） TVモード時：設定オプションが表示され、方向ボタン（▼▲）でメニューを選択します。（詳細説明27-28ページ）
9	メニュー	メニュー	DVD使用時、DVDのディスクメニューを呼び出します。
10	早戻し	◀◀	・早戻し再生ができます。利用可能なスピードは2,4,8,16,32倍と通常の速度です。
11	早送り	▶▶	・早送り再生ができます。利用可能なスピードは2,4,8,16,32倍と通常の速度です。

本体の各部機能

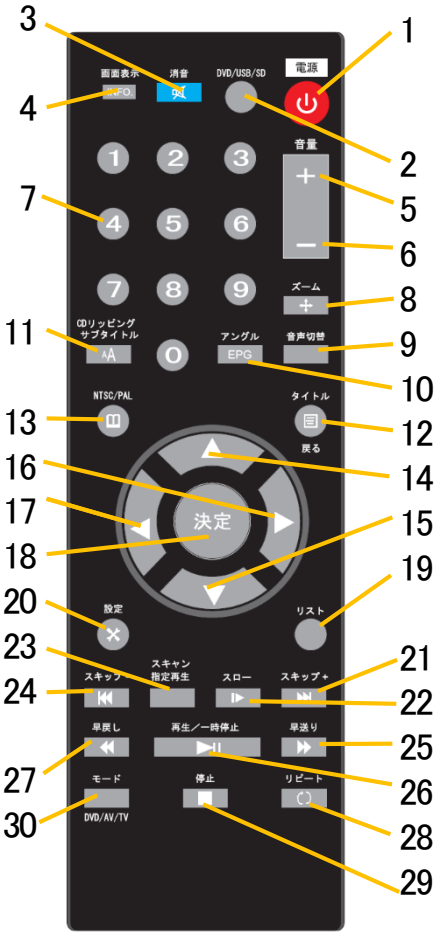
No.	名称	表示	機能
12	スキップー		・前のチャプターまたはトラックにスキップします。 （TVモード時は使用できません）
13	スキップ＋		・次のチャプターまたはトラックにスキップします。 （TVモード時は使用できません）
14	停止		再生中に1回押すとそのときの再生位置で停止します。 **※その時再生を押しとその場から再生し始めます。** 2回押すとスタート位置に戻り停止します。
15	再生／一時停止		ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り替えをします。また、早送り、早戻しなどその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。
16	チャンネル＋	チャンネル＋ ▲	TVモード時 ・次のチャンネルを選択できます。 ・設定、メニュー等表示の場合、メニューの選択項目を上に移動します。
17	チャンネルー	チャンネルー ▼	TVモード時 ・前のチャンネルを選択できます。 ・設定、メニュー等表示の場合、メニューの選択項目を下に移動します。
18	音量－	音量－ ◀	・音量-ボタンを数秒間**長押し**すると音量が下がります。 ・設定、メニュー等表示の場合、メニューの項目を左に移動します。
19	決定	OK	・設定、メニュー等の画面上のメニューを決定します。
20	音量＋	音量＋ ▶	・音量＋ボタンを数秒間**長押し**すると音量が上がります。 ・設定、メニュー等表示の場合、メニューの項目を右に移動します。

本体の各部機能

No.	名称	表示	機能
21	アンテナ入力端子	ANT	・アンテナ線を接続します。 （SMA端子）
22	DC入力端子	DC	・付属の電源アダプターを接続します。
23	電源スイッチ	ON⇔OFF	・本体電源のON⇔OFFの切替をします。 **※本体の電源をOFFにすると、リモコンではON/OFFできません。リモコン使用時は必ず本体の電源をONにしてご使用ください。**
24	AV入力端子	AV IN	・付属のAVケーブルを接続し外部機器を本体で再生します。（外部機器→本体）
25	AV出力端子	AV OUT	・付属のAVケーブルを接続し本体を外部機器で再生します。（本体→外部機器）
26	ステレオイヤホン端子		・Φ3.5ステレオミニジャック用のステレオイヤホンの挿入口 ※イヤホン使用中は、本体からは音声はでません。
27	SDカード挿入口	SD/MMC	・再生用ソースが入ったカードを挿入します。
28	USBメモリー接続口	USB	・再生用ソースが入ったUSBメモリーを挿入します。

リモコンの各部名称・機能

リモコンの各部の名称



※イラスト、画像が実物と
異なる場合があります。

1.電源 （ ⏻ ）
2.DVD/USB/SD切替
3.消音 （ 🔇 ）
4.画面表示
※DVD/USB/SD：時間表示
5.音量＋（音量を上げる）
6.音量－（音量を下げる）
7. 数字（1～9、0）
8.ズーム
9.音声切替
10.アングル、EPG
※DVD：画面アングル変更
（DVDの映像に複数のアングルがある場合にのみ対応）
※TV ：EPG（番組表）
11.CDリッピング、サブタイトル
12.タイトル、戻る
13.NTSC/PAL
14.上 選択（▲）
15.下 選択（▼）
16.右 選択（▸）
17.左 選択（◂）
18.決定
19.リスト
20.設定
21.スキップ＋（ ▸▸| ）
22.スロー（ |▶ ）
23.スキャン、指定再生
※TV ：スキャン
※DVD：指定再生
24.スキップ－（ |◂◂ ）
25.早送り（ ▸▸ ）
26.再生/一時停止（ ▸|| ）
27.早戻し（ ◂◂ ）
28.リピート（ 🔁 ）
29. 停止（ ■ ）
30.モード（DVD/AV/TV切換）

リモコンの各部機能

No.	名称	表示	機能
1	電源ボタン		本体電源のON/スタンバイの切替をします。 ※本体横の電源をOFFにすると、リモコンで電源のON/OFFはできません。 リモコン使用時は必ず本体の電源をONにしてご使用ください。
2	DVD/USB/SD切換	DVD/ USB/ SD	「30.モード切替ボタン」でDVDモードにしたとき、DVD→USB→SDにモードが切替わります。 ※メディアが入っていない場合、表示されません。
3	消音ボタン		一時的に音が消えます。もう一度ボタンを押すと音が出ます。 ※電源ボタンをオフにすると消音設定は解除されます。
4	画面表示	INFO	タイトル・チャプターの再生経過時間を表示することができます。 (タイトル再生時間→タイトル残り時間→チャプター再生時間→チャプター残り時間→表示なし) ※DVD/USB/SD時対応
5	音量＋	＋	音量＋ボタンを押すと音量が増えます。
6	音量－	－	音量－ボタンを押すと音量が減ります。
7	数字ボタン	1～9、 0	数字を入力するときに使います。(トラックやチャプター、チャンネル選択等)
8	ズーム	ズーム	ボタンを押すことにより動画シーンをズームイン(拡大)／ズームアウト(縮小)することが出来ます。ズームイン/ズームアウト可能な倍数は2x、3x、4x、1/2、1/3、1/4です。ズームインしたときに、方向ボタン(▼▲◀▶)を使用すると画面内を移動できます。 ※この機能はDVD、VCDに適応します。
9	音声切替	音声切替	ディスク内の切替可能な音声を選択します。 (ディスクによって異なります)
10	アングル	アングル	ボタンを押すと視野角度が上下120度、左右140度内に変更されます。 ※この機能は複数のカメラアングルでエンコードされたディスクにのみ対応。

リモコンの各部機能

No.	名称	表示	機能
11	CDリッピング サブタイトル	CDリッピング サブタイトル 	音楽CD装着時、USBメモリーまたはSDカードに、mp3形式で保存できます。 DVD，TVモード時は、字幕（サブタイトル）切換となります。
12	タイトル 戻る	タイトル 戻る 	DVDモード時：タイトル（ルート）メニューを表示します。方向ボタン（▲▼）でご希望のメニューを選択してください。タイトルメニューはDVDにより内容が違います。方向ボタン（◀▶）で選択し決定ボタンを押すと次画面に変わります。 TVモード時：元の画面に戻ります。
13	NTSC／PAL	NTSC/ PAL 	ボタンを押すと、テレビタイプの切替（NTSC/PAL/AUTO）ができます。 ※日本ではNTSCの設定でご使用ください。
14	上　選択	▲	◀▶ボタンでメニューのハイライトされている部分を移動させるのに使用することができます。 またTV使用時、 ▲▼ボタンでTVチャンネルの切換え（アップダウン）ができます。
15	下　選択	▼	
16	右　選択	▶	
17	左　選択	◀	
18	決定	決定	メニュー項目などを入力または選択し決定ボタンを押すことによりそれを実行します。
19	リスト	リスト	DVDモードでは、トラック、チャプタを入力することにより指定の順にプログラム再生します。TVモードでは、リストの中からチャンネル選択ができます。
20	設定	設定 	DVDモード時：各種設定のページが表示されます。方向ボタン（ ◀▶ ）で選択し、方向ボタン（▼▲）で下位メニューを選択します。もう一度「設定」ボタンを押すと、元の画面に戻ります。（詳細説明31-34ページ） TVモード時：設定オプションが表示され、方向ボタン（▼▲）でメニューを選択します。（詳細説明27-28ページ）

リモコンの各部機能

No.	名称	表示	機能
21	スキップ＋	▶▶|	次のチャプターまたはトラックにスキップします。
22	スロー	|▶	ボタンを押すことにより、ゆっくりした1/2、1/4、1/8、1/16倍の速度で再生します。 ※スロー再生中に音声は出ません。
23	スキャン 指定再生	スキャン 指定再生	**TVモード時**:TV使用時、ボタンを押すとチャンネルのスキャンを開始し、受信可能な放送局を探し出します。 **DVDモード時**: ディスク使用時に、チャプター指定再生／タイトル内時間指定再生／チャプター内指定再生が選択できます。 ・チャプター指定再生 再生中のタイトルの中のチャプターを指定再生します。 ・タイトル内時間指定再生 再生中のタイトル内の時間指定を数字ボタンにより指定し再生します。 ・チャプター内指定再生 再生中のチャプター内の時間指定再生を数字ボタンにより指定再生します。 ※ディスクにより設定内容が変わりますので画面の設定に従って入力してください。
24	スキップー	|◀◀	前のチャプターまたはトラックにスキップします。
25	早送り	▶▶	早送り再生ができます。利用可能なスピードは2,4,8,16,32倍と通常の速度です。 ・TVモード時、早送り機能は無効になります。
26	再生/一時停止	▶||	ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り替えをします。また、早送り、早戻しなどのその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。
27	早戻し	◀◀	早戻し再生ができます。利用可能なスピードは2,4,8,16,32倍と通常の速度です。 ・TVモード時、早戻し機能は無効になります。

リモコンの各部機能

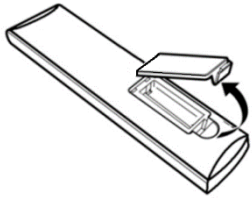
No.	名称	表示	機能
28	リピート		ボタンを押すことにより繰り返しモードになります。 DVD（チャプター→タイトル→オール） CD（トラック→オール） ※ディスクのPBC（プレイバックコントロール）機能が有効の場合、この機能は無効になります。 ※本体、リモコン電源ボタンをオフするとリピートは解除されます。
29	停止	■	ディスク再生中に1回押すと一時停止します。2回押すとスタート位置に戻り停止します。USBメモリーやSDカードの中に保存しているデータを再生中に1回押すと、停止して前のメニュー画面に戻ります。
30	モード （DVD/AV/TV切換）	モード	再生モードをDVD/AV/TV の順に変更します。

2. リモコン・本体の準備及び接続

※イラスト、画像が実物と異なる場合があります。

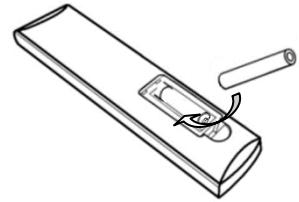
リモコンの準備

①リモコンのふたを外す。



②乾電池をいれる。

・単4形乾電池を使用します。
・乾電池はホルダー内部に表示された極性にしたがって、一側から横に2本並べて挿入して下さい。(極性に注意してください。)



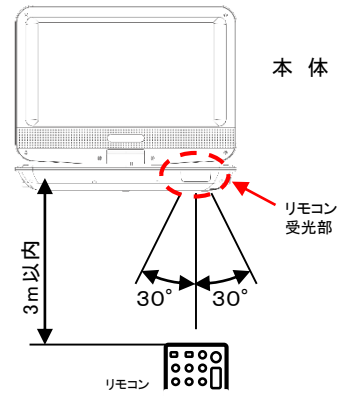
③リモコンのふたを閉める。

[注意]:リモコン電池について
※リモコンの電池は、単4形乾電池(2本使用)です。製品付属の電池は動作確認用です。通常ご使用分は、別途ご用意ください。
※長期間本製品を使用しない時はリモコンの電池を取り出して保管してください。

リモコンの操作範囲

画面に対し垂直に向けて
操作してください。

距離:リモコン受光部から
3m以内
角度:リモコン受光部から
上下左右約30度以内



保護シートの取り外し

出荷時の状態では、ディスクトレイ内に保護シートがついています。そのまま電源を入れると機器の破損や故障につながります。電源投入前に必ず取り外してください。

保護シート
をはずす

アンテナの接続

（1）付属のロッドアンテナを接続

本体に付属の外付け受信用ロッドアンテナを接続し、窓際など電波の受信しやすい場所に置いてください。
お車でご使用の際は、なるべく高い位置に設置したほうが受信状況はよいですが、お車によって状況は異なりますので、安全運転に支障のない範囲で受信状況のよい設置場所をお探し下さい。

付属ロッドアンテナ

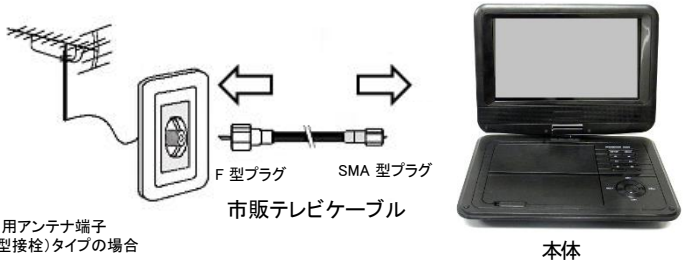
製品本体のSMA端子へ

付属ロッドアンテナのコネクターを本体左側面のアンテナ入力端子に差込み、右へ回して、しっかりと固定してください。

(2)室内用アンテナ端子に接続して使う場合

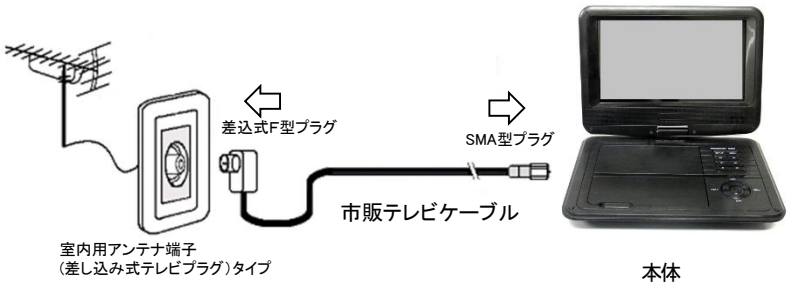
①室内アンテナ端子がネジ式のF端子の場合

市販のテレビケーブル(F型プラグ-SMA型プラグ)を使用して接続してください。
本体側、アンテナ端子側ともにネジ式になっていますので右へ回して、しっかりと固定してください。



②室内アンテナ端子が差し込み式のテレビプラグ端子の場合

市販のアンテナコード(差し込み式F型プラグ－SMA型プラグ)を使用して接続してください。

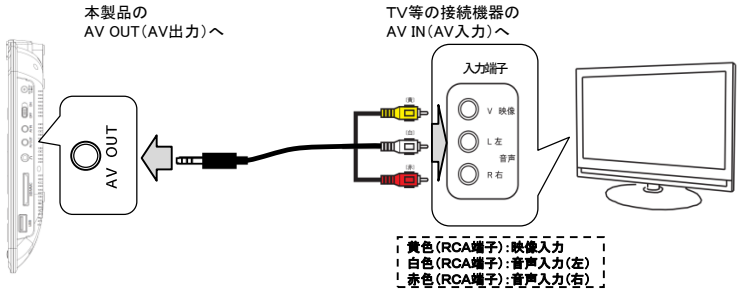


外部機器の接続

外部機器と接続してお使いになる場合、下記のように接続してください。
(本製品単体でお使いになる場合は、下記の接続の必要はありません。)

(1)外部機器に出力する場合

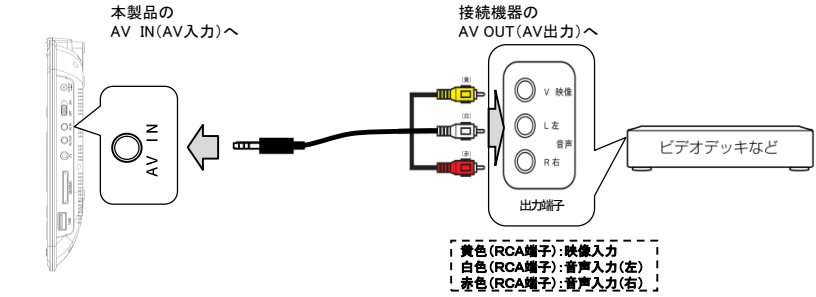
本製品で再生している映像を外部機器に出力する場合の接続です。
たとえば、大画面テレビでDVDを観賞したいときなどに利用できます。
付属のAVケーブルを使って、本製品側面のAV　OUTと外部接続機器(テレビ等)の
入力端子を接続します。



※接続したテレビ側で外部入力モード(ビデオ等)に切り替える必要があります。
※接続コードは、必ず付属のコードをご使用ください。市販のコードを使用した場合、再生できなかったり
故障の原因となることがあります。

(2)外部機器から入力する場合

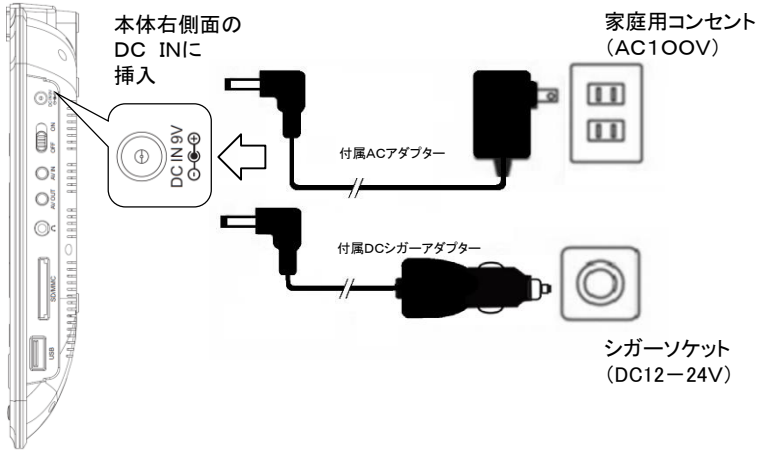
本製品にビデオデッキ、ビデオカメラ等の外部機器を接続し、接続機器側で再生し
ている映像を本製品の液晶モニターに再生します。
付属のAVケーブルを使って本製品側面のAV INと接続機器の出力端子を接続します。



※外部機器の映像を入力する場合は、本製品の機能モードを「AVモード」に切換えてください。
※接続コードは、必ず付属のコードをご使用ください。市販のコードを使用した場合、再生できなかったり
故障の原因となることがあります。

電源の接続

本体側面の電源入力に付属のACアダプターもしくは車載用DCシガーアダプターを接続し、コンセントもしくはシガーソケットに接続します。



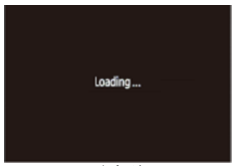
※車載用シガーアダプターはDC12V-DC24V車に接続できます。DC-DCコンバーターなどの電圧変換器は使用しないでください。故障の原因になることがあります。

3. TVモード(テレビ)で再生

スキャン操作は初めて使用する時に必ず行う操作です。スキャンを行わないとテレビ放送を受信することができません。また、移動により放送エリアが変わった時にもスキャンをやり直してください。

■テレビを使用する前のスキャン操作

①電源を入れる。
②「モード」ボタン(DVD/AV/TV切換)でTVモードにする。
(「モード」ボタンを押すごとに、DVD→AV→TVと順に切り替わります。)
※TVモードになると画面に「Loading…」が表示され、その後TV画面になります。



TVモード直後の画面

③リモコンの「スキャン」ボタンを押してください。下図の検索選択画面が表示されます。
※検索選択画面をキャンセルする場合には、「戻る」ボタンを押してください。
④リモコンの(▲▼)ボタンで「フルスキャン」を選び「決定」ボタンを押すとスキャンを行い、現在の環境で受信できる放送局チャンネルを検出し、本製品本体内部に記憶します。

検索選択画面
「フルスキャン」を選択

スキャン開始
「検索中」表示

・スキャンの際は、見晴らしの良い電波の受信環境の良い場所で車を静止して行って下さい。受信環境が悪い所でスキャンをおこなったり、スキャン中に移動したりすると放送局が受信出来ない場合があります。
・遠くへ移動するなど、受信できる放送局が変わる場合は、受信環境などで放送局の検索がスムーズにいかないことがあります。この場合はスキャンボタンにより、再度受信環境の良い所で暫く静止してスキャンを行ってください。

■テレビの選局方法

（選局方法1）

①リモコンの（▲▼）ボタンを押します。
②画面の上下に情報バーが表示されます。（下図左を参照）
③リモコンの（▲▼）ボタンで現在のチャンネルの前または次のチャンネルへ切り替えます。
　このとき、「番組を切り替え」画面が表示されます。（下図右を参照）
　切り替えには数秒かかりますので、少しお待ちください。
④「戻る」ボタンを押し、本来の画面に戻ります。

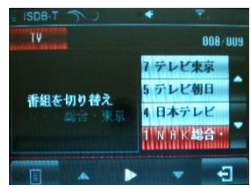
「番組を切り替え」画面

※情報バーを消して本来の画面に戻るには、「戻る」ボタンを押してください。
　何も操作しなくても、約20秒で情報バーは自然に消えます。
※（選局方法1）は、本製品本体のボタンを使用しても操作できますが、本体には
　「戻る」ボタンがないため、本来の画面に戻るのに約20～40秒程度かかります。
※本製品本体の音量ボタン（VOL+、VOL−）で音量調整する場合には、ボタンを長押しして
　ください。

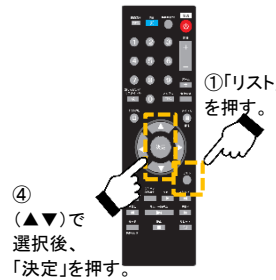
（選局方法2）

①リモコンの「リスト」ボタンを押します。
②画面の上下に情報バーが表示されます。
③もう一度「リスト」ボタンを押すと、「TVリスト」画面が表示されます。（下図左を参照）
④（▲▼）ボタンでチャンネルを選択し、「決定」ボタンを押します。（下図右を参照）
⑤「TVリスト」画面内に選択した番組が表示されます。
⑥「戻る」ボタンを2回押し、本来の画面に戻ります。

「TVリスト」画面



「番組を切り替え」画面



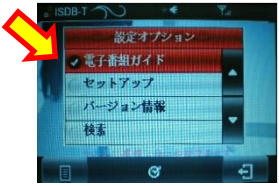
■テレビの設定オプション

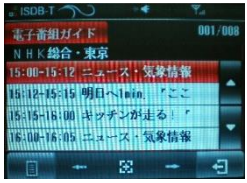
TV使用時、「設定」ボタンを2回押すと、「設定オプション」画面になります。設定オプション画面では下記操作ができます。

1. **電子番組ガイド**
2. **セットアップ**
3. **バージョン情報**
4. **検索**

1. 電子番組ガイド
現在選局しているチャンネルの番組表が表示され、番組内容を確認できます。

①(▲▼)ボタンで「**電子番組ガイド**」を選択し「決定」ボタンを押すと、番組表が表示されます。
②(▲▼)ボタンで番組を選択し「決定」ボタンを押すと、番組内容が表示されます。
③「戻る」ボタンを何回か押して、元の画面に戻ります。



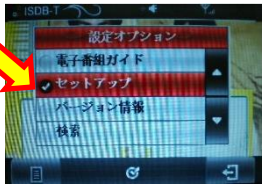


お好みの番組を選択

※表示できる番組は、現在時間から数時間分です。
※リモコンの「EPG」ボタンでも電子番組ガイドを呼び出せます。

2. セットアップ
言語、モード、明るさ、リセットの設定ができます。

①(▲▼)ボタンで「**セットアップ**」を選択し「決定」ボタンを押すと、セットアップ画面が表示されます。
②言語、モード、明るさ、リセットの中から(◀又は▶)ボタンで選択し(▼▲)ボタンで決定します。
③「戻る」ボタンを何回か押して、元の画面に戻ります。

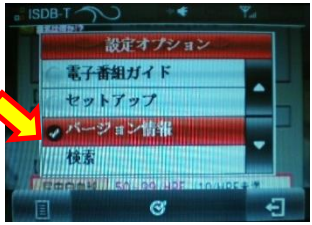


設定オプションの画面
セットアップを選択

言語/モード/明るさ/リセット
を選択

3. バージョン情報
バージョン情報を確認できます。

①(▲▼)ボタンでメインメニュー項目から「バージョン情報」を選択し(下図左)、
「決定」ボタンを押すと、「バージョン」画面(下図右)が表示されます。
②「戻る」ボタンを何回か押して、元の画面に戻ります。



4. 検索
フルスキャン/周波数の選択、を実行します。

①(▲▼)ボタンでメインメニュー(下図左)から「検索」を選択し「決定」ボタンを押すと、
「検索」画面(下図右)が表示されます。
②「フルスキャン」、「周波数の選択」の中から、(▲▼)ボタンで選択し「決定」ボタンで
決定します。
キャンセルする場合には、「戻る」ボタンを押してください。

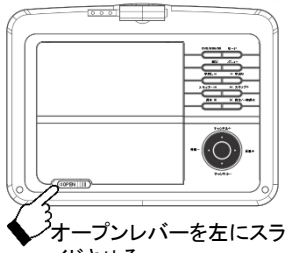
※「周波数の選択」は、チャンネルの周波数を指定して1チャンネルだけスキャンします。
※リモコンの「スキャン」ボタンでもこの機能を呼び出せます。

4. DVDモードで再生
(DVD/SDカード/USBメモリー)

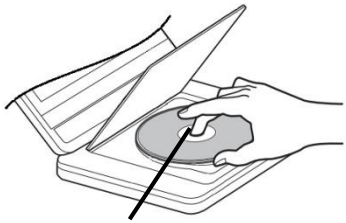
すべての接続を確認してください。電源スイッチを入れて再生してみましょう。

■ディスク(DVD/CD)を入れる

①ディスプレイを開けて電源を入れます。
②DVDモードでない場合には、「モード」ボタンを押してDVDモードにします。
③オープンレバー(OPEN)をスライドさせてディスクカバーを開けて下さい。画面に“オープン”と表示されます。
④ディスクをトレイに置きます。(カチッと音がするまでしっかりと中央のホルダーにはめ込みます。)
⑤ディスクカバーを閉めると画面上に“ロード中”と表示され自動的に再生が始まります。



オープンレバーを左にスライドさせる。


記録面を下にいれる。

※パネルを閉めると画面上に“ロード中”と表示され自動的に再生が始まります。

⚠ 注意

- **回転中にディスクに触れない**
  けがや故障の原因になります
- **パネルを閉めるとき手をはさまない**
  指や手をはさみ、けがの原因になります
- **パネルを無理に開けない**
  無理に開けると故障の原因になります
- **変形、ひび割れ、接着剤などでの補修されたり、シールやフィルムなどが貼られたディスクは使用しない**
  故障の原因になります。
- **本製品で再生出来ないディスクやディスク以外の異物は入れない**
  故障の原因になります。
- **再生中に本製品を傾けたり揺らしたり移動させたりしない**
  故障の原因になります。悪路を走行中はディスクを停止させてください。
- **長時間再生直後は、内部に触れない**
  内部が熱くなることがありますのでディスクの取り出しには注意してください。

■ディスクを再生する

電源の接続、ディスクの挿入の確認をしてください。

①本製品の電源を入れます。
②ディスクが入っている場合には、ディスクを優先して自動再生します。
ディスクが入っておらずSDカード／USBメモリーが装着されていた場合には、
ディスクを入れ、「DVD/USB/SD」切換ボタンで「DVD」に切り替えると、ディスクが
自動再生します。
③DVDディスクやビデオCDを再生するとディスクプログラムのメニュー画面が表示されます。
▲▼◀▶ボタンでメニュー内容に従って再生をお楽しみください。

■SDカード／USBメモリーを再生する

パソコンなどで書き込んだ、市販のSDカードやUSBメモリーの動画や音楽を再生することができます。

①本製品の右側面にあるSDカードおよびUSBの挿入口に動画又は音楽の入ったSDカードもしくはUSBメモリーを挿入します。
②本製品の電源を入れます。
③DVDディスクが本体内に入っていた場合には、DVD再生中に「DVD/USB/SD」ボタンを押します。
④USBメモリーまたはSDカードが検出されると、「検索中」と表示後、USBまたはSDの中のフォルダやファイルが表示されます。
⑤再生したいデータを▲▼◀▶ボタンで選択し、「決定」ボタンを押します。
⑥画面の内容に従って再生をお楽しみください。

■再生可能な条件

本製品の再生可能なデータ形式は下記のとおりです。条件に従って記録してください。記録方法は、レコーダーやパソコンなどの記録機器の取扱説明書をご覧ください。

動画、音楽、写真の再生可能な詳細条件

	再生可能データフォーマット	画素（RGB）	ビットレート（kb/s）	フレームレート
動画	AVI	720×576以下	64kb/s	23fps
	DIVX	720×480以下	224kb/s	24fps
音楽	MP3		224kb/s以下	
	WMA		159kb/s	
写真	JPEG	6000×3900 以下		

※一般的にCDやDVD（市販されているもの）以外の音楽、動画データについては、本機で再生出来ない場合がありますので予めご了承下さい。
※本機で再生可能な動画データは標準画質（SD）までです。HD画質の動画は再生出来ませんので予めご了承下さい。

DIVX再生とは：
DIVXは、一般的なAVIファイルとして知られているビデオの録画形式です。DIVXディスクの機能は大容量DVDに匹敵する高品質を備えています。

■「設定」ボタンの機能

各モード再生時に、「設定」ボタンでさまざまな設定、機能の選択が出来ます。

「モード」ボタンにてDVDモードに設定してください。
1. リモコンの「設定」ボタンを押すと各々の設定メニュー画面が表示されます。
2. (◀又は▶)ボタンを使って
   (1)一般設定
   (2)オーディオ設定
   (3)ビデオ設定
   (4)初期設定
   のページを選び、「決定」ボタンで決定します。
   (◀)ボタンで前の設定画面に戻すことができます。
3. 次に(▼又は▲)ボタンで上下移動しメニューを選び、「決定」ボタンを押します。
4. 決定したメニューからサブメニューの選択内容を(▼又は▲) ボタンで選択し「決定」ボタンを押します。(◀)ボタンで前メニューに戻ります。

※設定メニューを終了するには、もう一度「設定」ボタンを押します。

(1)一般設定

「一般設定」では
◎TV画面
◎アングルマーク
◎画面案内言語
◎字幕(キャプション)
◎スクリーンセーバー
◎ラストメモリー
の設定ができます。

◎TV画面(TV DISPLAY)・・・ノーマル／PS、ノーマル／LB、16:9、の切換
・ノーマル／PS (パンスキャンサイズ):通常のテレビ(4:3)に接続した場合、ワイド画面(16:9)イメージは縦いっぱいに表示され左右の一部がカットされて再生します。
・ノーマル／LB (レターボックスサイズ):通常のテレビ(4:3)に接続した場合、ワイド画面(16:9)イメージは上下に帯が入って再生されます。
・16:9 (ワイドサイズ):ワイドテレビ(16:9)に接続した場合、ワイド画面(16:9)のディスクを再生した場合にはフル画面で再生します。
水平方向にすべて画面が収まるように伸縮されて表示されます。
※ディスクによっては画面サイズの変更ができない場合があります。
※設定はDVDを停止させてから行ってください。

◎アングルマーク(ANGLE MARK)・・・オン(入)／オフ(切)
複数のカメラアングルの映像が組み込まれているマルチアングル付きDVDのアングル選択ができます。
※この機能はマルチアングルで作成されたDVDにのみ対応します。

◎画面案内言語（OSD LANG、オン・スクリーン・ディスプレイ言語）・・・英語／日本語の切換
設定のページ画面に表示される言語の設定をします。

◎字幕（CAPTIONS）・・・オン／オフ
クローズドキャプション（聴覚の不自由な方のための字幕）の表示のオン／オフの切換をします。

◎スクリーンセーバー（SCREEN SAVER）・・・オン／オフ
画面上の画像が静止したまま、例えば、ディスクを数分間PAUSE 、STOPなどしたとき画面にスクリーンセーバーが表示されます。スクリーンセーバーが表示中、いずれかの操作ボタンを押すと元の状態に戻ります。

◎ラストメモリー（LAST MEMORY）・・・ オン／オフ
この機能をオンにしたとき、本機が再生中にディスクの扉を開いたり、又はディスクを停止した場合、最後に再生していた部分を記憶する機能。ディスクを再生するときに記憶された箇所から再生が始まります。他のディスクを読み込むとメモリーは消えます。

（2）オーディオ設定

◎ダウンミックス（DOWNMIX）・・・ LT/RT、ステレオ、の選択
サラウンド音声の場合に、左右の信号の処理方法を選択できます。
LT/RT：サラウンド音声をフロントの左右ににミックスされて出力
ステレオ：フロントの左右のみの音声を出力

（3）ビデオ設定

DVDの画質調整の設定を行います。
※この設定はDVDの画質調整のみに対応します。
※この設定はAV OUTには反映されません。

◎カラー調整・・・明るさ、コントラスト、色調、彩度、の調整
調整したい項目を（▼又は▲）ボタンで選択し、「決定」ボタンで決定後、（◂▸）ボタンでお好みの画質設定を選び「決定」ボタンを押します。

・明るさ（BRIGHTNESS）・・・ −10 ～ 0 ～ +10
画面の明るさを調整します。（輝度調整）

・コントラスト（CONTRAST）・・・ −16 ～ 0 ～ +16
画面の明暗の差を調整します。

・色あい（HUE、色調）・・・ −9 ～ 0 ～ +9
映像の色合いを調整します。

・彩度（SATURATION）・・・ −9 ～ 0 ～ +9
画面の色の濃さ（鮮やかさ）を調整します。

◎パネル・ディスプレイ（PANEL DISPLAY）・・・16：9／4：3の切換
画面の縦横比を切り換えます。

（4）初期設定

◎テレビタイプ（TV TYPE）・・・PAL／AUTO／NTSCの選択設定

本機は、放送方式がNTSC方式とPAL方式と互換性があり、どのTV放送方式でも接続が可能です。NTSC方式のTVに接続した場合、再生ディスクがPAL方式であってもNTSC信号を出力します。（日本、韓国、台湾、米国、カナダなど）PAL方式のTVに接続した場合、再生ディスクがNTSC方式であってもPAL信号を出力します。（中国、ヨーロッパ、中東など）間違った選択をした場合画面が汚くなりますので正しく選択してください。
※日本でご使用の場合はNTSCに設定されていることを確認してください。

◎音声（AUDIO）・・・英語／日本語の切換

ディスクに指定言語がない場合に、この音声設定が有効になります。

◎字幕（SUBTITLE）・・・英語／日本語の切換

ディスクに指定言語がない場合に、この字幕設定が有効になります。

◎ディスクメニュー（DISC MENU）・・・ 英語／日本語／その他の切換

ディスクに指定言語がない場合に、ディスクメニューの言語を設定します。

◎ペアレント設定（PARENTAL、パレンタル設定）：視聴制限機能

暴力画面などを含むDVDディスクには、視聴する人の年齢によって視聴を制限できるようにレベル設定されているものがあります。本機では、どのレベルまで再生できるかを設定できます。適切な制限レベルは実際にお客様ご自身で動作させてご確認ください。
※制限レベル（KID SAFE、G、PG、PG13、PGR、R、NC17、ADULT）

KID SAFE：すべての子供
G：一般向け
PG：保護者の指導が望ましい
PG13：13歳未満は保護者が十分注意する
PGR：親の指導が必要
R：制限付き
NC17：17歳未満不可
ADLUT：成人のみ

◎パスワード変更（PASSWORD）

・パスワードモード（PASSWORD MODE）・・・オン／オフ

オンにすると、ペアレント設定のパスワードモードを有効にします。

・パスワード変更（PASSWORD）

この項目でパスワードを変更することができます。
パスワードを変更しても初期設定パスワード(136900)は常に有効です。
※ 新パスワードに変更する前に、旧パスワードを正しく入力する必要があります。
初期設定のパスワードは136900です。

◎デフォルト（DEFAULT）

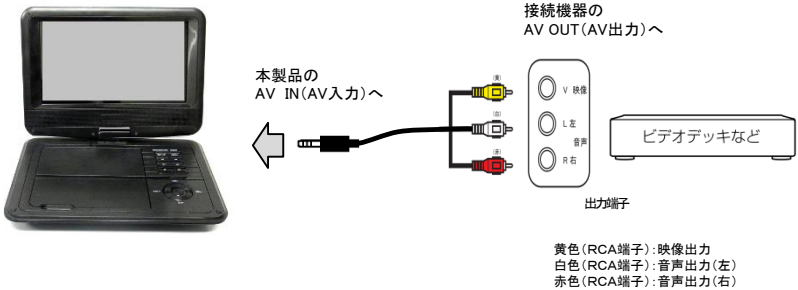
工場出荷時の初期設定に戻します。
※ 視聴制限のパスワードは初期化されませんのでご注意ください。

5. AVモード（外部入力）で再生

本製品をAVモードに設定することによって、外部機器の映像・音声信号を、
本製品の液晶モニター・内蔵スピーカーで再生することが出来ます。

①本製品付属のAVケーブルを使って、本製品側面のAV IN（AV入力端子）と外部機器の
出力端子を接続します。
※接続方法は、23ページを参照してください。
②電源を入れる。
③「モード」ボタン(DVD/AV/TV切換）でAVモードにする。
（「モード」ボタンを押すごとに、DVD→AV→TVと順に切り替わります。）

※本製品のAV OUT（AV出力端子）による外部出力は、DVDモード、TVモードで
ご利用できます。



6. 音楽CDのファイルの保存(リッピング)

本製品は、音楽CDの曲をSD/MMCカード(SD/MMC)またはUSBメモリー(USB)に保存することが出来ます。

①本製品の右側面にあるSDカード挿入口にSDカードを、またはUSBの挿入口にUSBメモリーを挿入する。
②本製品の電源を入れる。
③音楽CDを装填する。
④CD再生中に、リモコンの「CDリッピング」ボタンを押す。
⑤「CD RIPPING」画面が表示されます。
⑥オプションの設定を確認し、必要な変更をする。
(▲▼◀▶ボタンでカーソル移動、「決定」ボタンで**切換**)
スピード(リッピングの速さ) :正常(通常速度)/高速
Bitrate(ビットレート) :96k/112k/128k/192k/256k/320kbps
ID3 作成 :はい/いいえ
デバイス(保存先) :USB1/SD (未実装の場合は、「なし」と表示)
⑦『トラック』ページでリッピングするトラックを選択。
・レ(チェック)で選択状態となります。
・ページに表示されている▼(または▲)を選び「決定」ボタンを押すと、トラック表示のページシフトが可能です。
⑧全トラックを選ぶ場合は『すべて選択』を選び「決定」ボタンを押す。
⑨選択をクリアする場合は『選択なし』を選び「決定」ボタンを押す。
⑩『スタート』を選び「決定」ボタンを押すと、リッピングを開始する。(進行状況を表示)
⑪途中でやめるときは直ぐに「決定」ボタンを押す。
⑫『終了』を選び「決定」ボタンを押すと、リッピングを終了。

※作成したmp3ファイルは"CDA_RIP"フォルダの下にファイル名「TRACKxxx(連番)」で作成されます。なお、このファイル名は「リッピングしたトラック番号」ではありません。
※本製品にはリアルタイムクロック機能等がございませんため、作成したmp3ファイルのタイムスタンプは"2008/01/01"固定となります。

使用上のお願い
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

7. 主な仕様

品　　番	**EB-RM901DV**
品　　名	9インチポータブルDVDプレーヤー（ワンセグTV搭載）
液　　晶	液晶：TFT　バックライト：LED
画 面 サ イ ズ	9インチ
解像度（横×縦）	800×480 ピクセル
視野角（上下左右）	上下 45°　左右 135°
スピーカー	8Ω　2W×2
対応メディア	DVD/DVD-R/DVD-RW/CD/CD-R/CD-RW CPRM（VRモード）対応
イヤホン端子	Φ3.5mm
マイクロSDカードスロット	対応16GB以下
再生動画フォーマット	AVI
再生音楽フォーマット	MP3/WMA
再生画像フォーマット	JPG
T　V 受 信	ワンセグ
電 源 電 圧	DC 9V（丸ピンタイプ入力端子）
消 費 電 力	13 W
待機時消費電力	0.5 W
サ　イ　ズ	約 250(W)×186(D)×40(H)　mm
製 品 質 量	約 0.9kg
付　属　品	車載用DCアダプター（DC12-24V）、家庭用ACアダプター（AC100-240V）、リモコン（電池付）、車載用ケース、アンテナ、AVケーブル、取扱説明書

再生メディアに関するご注意！

DVD-R
本機はビデオモード又はCPRM方式で記録し、且つファイナライズ処理されたものの再生が可能です。どちらも記録状況によっては再生出来ない場合があります。
CD-R
本機の対応フォーマットで記録され、記録終了時にセッションクローズ又はファイナライズされた音楽用CD-R再生に対応しています。どちらも記録状況によっては再生出来ない場合があります。

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

8. 地上デジタル放送チャンネル一覧表（ご参考）

地域名	北海道（札幌）		北海道（函館）		北海道（旭川）		北海道（帯広）	
放送局名	チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号	
	3	NHK総合・札幌	3	NHK総合・函館	3	NHK総合・旭川	3	NHK総合・帯広
	2	NHK教育・札幌	2	NHK教育・函館	2	NHK教育・旭川	2	NHK教育・帯広
	1	北海道放送	1	北海道放送	1	北海道放送	1	北海道放送
	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送
	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送
	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送
	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道
地域名	北海道（釧路）		北海道（北見）		北海道（室蘭）		宮城	
放送局名	チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号	
	3	NHK総合・釧路	3	NHK総合・北見	3	NHK総合・室蘭	3	NHK総合・仙台
	2	NHK教育・釧路	2	NHK教育・北見	2	NHK教育・室蘭	2	NHK教育・仙台
	1	北海道放送	1	北海道放送	1	北海道放送	1	東北放送
	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送	8	仙台放送
	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送	4	宮城テレビ放送
	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送	5	東日本放送
	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道		
地域名	秋田		山形		岩手		福島	
放送局名	チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号	
	1	NHK総合・秋田	3	NHK総合・山形	1	NHK総合・盛岡	1	NHK総合・福島
	2	NHK教育・秋田	2	NHK教育・山形	2	NHK教育・盛岡	2	NHK教育・福島
	4	秋田放送	1	山形放送	6	IBC岩手放送	8	福島テレビ
	8	秋田テレビ	5	山形テレビ	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ
	5	秋田朝日放送	6	テレビュー山形	8	岩手めんこいテレビ	5	福島放送
			8	さくらんぼテレビジョン	5	岩手朝日テレビ	6	テレビュー福島
地域名	青森		東京		神奈川		群馬	
放送局名	チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号	
	3	NHK総合・青森	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・青森	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京
	1	青森放送	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網
	6	青森テレビ	6	東京放送	6	東京放送	6	東京放送
	5	青森朝日放送	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
			5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
			7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
			9	東京メトロポリタンテレビジョン	9	テレビ神奈川	9	群馬テレビ
			12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学
地域名	茨城		千葉		栃木		埼玉	
放送局名	チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号	
	1	NHK総合・水戸	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網
	6	東京放送	6	東京放送	6	東京放送	6	東京放送
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
	12	放送大学	3	千葉テレビ放送	3	とちぎテレビ	3	テレビ埼玉
			12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学
地域名	長野		新潟		山梨		愛知	
放送局名	チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号	
	1	NHK総合・長野	1	NHK総合・新潟	1	NHK総合・甲府	3	NHK総合・名古屋
	2	NHK教育・長野	2	NHK教育・新潟	2	NHK教育・甲府	2	NHK教育・名古屋
	4	テレビ信州	6	新潟放送	4	山梨放送	1	東海テレビ放送
	5	長野朝日放送	8	新潟総合テレビ	6	テレビ山梨	5	中部日本放送
	6	信越放送	4	テレビ新潟放送網			6	名古屋テレビ放送
	8	長野放送	5	新潟テレビ２１			4	中京テレビ放送
							10	テレビ愛知
地域名	石川		静岡		福井		富山	
放送局名	チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号	
	1	NHK総合・金沢	1	NHK総合・静岡	1	NHK総合・福井	3	NHK総合・富山
	2	NHK教育・金沢	2	NHK教育・静岡	2	NHK教育・福井	2	NHK教育・富山
	4	テレビ金沢	6	静岡放送	7	福井放送	1	北日本放送
	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビジョン放送	8	中部日本放送
	6	北陸放送	4	静岡第一テレビ			6	富山テレビ放送
	8	石川テレビ放送	5	静岡朝日テレビ				

地上デジタル放送チャンネル一覧表（ご参考）　つづき

地域名	三重		岐阜		大阪		京都	
放送局名	チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号	
	3	NHK総合・津	3	NHK総合・岐阜	1	NHK総合・大阪	1	NHK総合・京都
	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪
	1	東海テレビ放送	1	東海テレビ放送	4	毎日放送	4	毎日放送
	5	中部日本放送	5	中部日本放送	6	朝日放送	6	朝日放送
	6	名古屋テレビ放送	6	名古屋テレビ放送	8	関西テレビ放送	8	関西テレビ放送
	4	中京テレビ放送	4	中京テレビ放送	10	読売テレビ放送	10	読売テレビ放送
	7	三重テレビ放送	8	岐阜放送	7	テレビ大阪	5	京都放送

地域名	兵庫		和歌山		奈良		滋賀	
放送局名	チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号	
	1	NHK総合・神戸	1	NHK総合・和歌山	1	NHK総合・奈良	1	NHK総合・大津
	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪
	4	毎日放送	4	毎日放送	4	毎日放送	4	毎日放送
	6	朝日放送	6	朝日放送	6	朝日放送	6	朝日放送
	8	関西テレビ放送	8	関西テレビ放送	8	関西テレビ放送	8	関西テレビ放送
	10	読売テレビ放送	10	読売テレビ放送	10	読売テレビ放送	10	読売テレビ放送
	3	サンテレビジョン	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ放送	3	びわ湖放送

地域名	広島		岡山		島根		鳥取	
放送局名	チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号	
	1	NHK総合・広島	1	NHK総合・岡山	3	NHK総合・松江	3	NHK総合・鳥取
	2	NHK教育・広島	2	NHK教育・岡山	2	NHK教育・松江	2	NHK教育・鳥取
	3	中国放送	4	西日本放送	8	山陰中央テレビジョン放送	8	山陰中央テレビジョン放送
	4	広島テレビ放送	5	瀬戸内海放送	6	山陰放送	6	山陰放送
	5	広島ホームテレビ	6	山陽放送	1	日本海テレビジョン放送	1	日本海テレビジョン放送
	8	テレビ新広島	7	テレビせとうち				
			8	岡山放送				

地域名	山口		愛媛		香川		徳島	
放送局名	チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号	
	1	NHK総合・山口	1	NHK総合・松山	1	NHK総合・高松	3	NHK総合・徳島
	2	NHK教育・山口	2	NHK教育・松山	2	NHK教育・高松	2	NHK教育・徳島
	4	山口放送	4	南海放送	4	西日本放送	1	四国放送
	3	テレビ山口	5	愛媛朝日テレビ	5	瀬戸内海放送		
	5	山口朝日放送	6	あいテレビ	6	山陰放送		
			8	テレビ愛媛	7	テレビせとうち		
					8	岡山放送		

地域名	高知		福岡		熊本		長崎	
放送局名	チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号	
	1	NHK総合・高知	3	NHK総合・福岡	1	NHK総合・熊本	1	NHK総合・長崎
	2	NHK教育・高知	3	NHK教育・北九州	2	NHK教育・熊本	2	NHK教育・長崎
	4	高知放送	2	NHK教育・福岡	3	熊本放送	3	長崎放送
	6	テレビ高知	2	NHK教育・北九州	8	テレビ熊本	8	テレビ長崎
	8	高知さんさんテレビ	1	九州朝日放送	4	熊本県民テレビ	5	長崎文化放送
			4	RKB毎日放送	5	熊本朝日放送	4	長崎国際テレビ
			5	福岡放送				
			7	TVQ九州放送				
			8	テレビ西日本				

地域名	鹿児島		宮崎		大分		佐賀	
放送局名	チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号		チャンネル番号	
	3	NHK総合・鹿児島	1	NHK総合・宮崎	1	NHK総合・大分	1	NHK総合・佐賀
	2	NHK教育・鹿児島	2	NHK教育・宮崎	2	NHK教育・大分	2	NHK教育・佐賀
	1	南日本放送	6	宮崎放送	3	大分放送	3	サガテレビ
	8	鹿児島テレビ放送	3	テレビ宮崎	4	テレビ大分		
	5	鹿児島放送			5	大分朝日放送		
	4	鹿児島読売テレビ						

地域名	沖縄	
放送局名	チャンネル番号	
	1	NHK総合・那覇
	2	NHK教育・那覇
	3	琉球放送
	5	琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ放送

・地上デジタル放送は、地上アナログ放送との混信を避けるため、エリアによっては非常に小さい出力で開始されます。そのため、受信可能エリアが限定されます。また、受信障害がある環境では、エリア内でも受信できないことがあります。
・地上デジタル放送開始等の確認は、お近くのTV局へお問い合わせください。

9. 困ったときは

保守サービスを利用する前に、もう一度次の項目をご確認ください。

症状	処置
音がでない	本体あるいはリモコンの音量+を押して下さい。
キー操作ができない	ディスクによっては特定の操作を禁止している場合があります。故障ではありません。
アイコン⊘ がスクリーン上に表示される。	下記の場合、機能が実行されません。 原因: 1.ディスクのソフトウェアが制限している場合。 2.ディスクのソフトウェアがその機能をサポートしていない場合。 3.この機能を現時点では利用できない場合。
画像が乱れる	ディスクが破損していることがありますので別のディスクを試してください。 早送り/早戻し時、多少乱れが出ることがありますが、これは故障ではありません。
スキップ＋／－でスキャンが出来ない	一部のディスクセクションでは、クイックスキャン、またはタイトルとチャプターのスキップを禁止していることがあります。 動画冒頭の警告情報やクレジットは、常にスキップすることを禁止するようにプログラムされています。
プレーヤーにUSBドライブやメモリカードを挿入するとクラッシュする。	挿入されたUSBドライブやメモリーカードが 正規バージョンでない可能性があります。 正規品をお使いいただくようお勧めします。 本機がクラッシュを起こした場合は、 電源を切り、電源コードを抜いて下さい。 再び電源コードを差し、電源を入れて下さい。 正常な状態に立ち上がります。

ー　メモ　ー

ー　メモ　ー

保証書

本保証書は製品ご購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無料修理する事をお約束するものです。修理は必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

【無料修理規定】

1. 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り無料にて修理させていただきます。
   - ●無料修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。
   - ●ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、**サポートセンター**にご相談ください。
2. 保証期間内でも次のような場合には有償になります。
   - ●使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   - ●火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源（電圧、周波数）、などによる故障及び損傷。
   - ●ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障及び損傷。
   - ●本保証書のご提示がない場合。
   - ●本保証書にご購入年月日、お客様名、ご購入販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   - ●消耗品、付属品などを他社製品と交換することによる故障及び損傷。
   - ●液晶の損傷。
3. 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証は致しません。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
6. データの取り扱いについて
   - ●修理依頼品に装着したお客様のディスクやメモリーなど記録媒体で不具合確認する場合、記録されたデータ（お客様が録音・録画した音楽・映像データ、各種設定内容等を含む）を必要に応じ修理過程で閲覧・実行する場合がありますが、修理目的以外に使用いたしません。
   - ●本修理サービスにおきまして、当社は記録データについての複製、バックアップ、復元作業等は一切行いませんので、ご了承願います。
   - ●修理のために必要と判断した場合、修理依頼品の設定を初期化、工場出荷状態に戻す等の作業を行わせていただきます。その際にお客様が登録した設定等は失われます。
   - ●修理等の作業にあたっては細心の注意を払いますが、前項以外の場合であっても作業の過程で記録データの破損・消失等が生じる場合があります。
     当社は、記録データの破損・消失等についての責任は負いかねますので、ご了承願います。

※修理の際に大切な記録データ（音楽・映像など）などは必ずバックアップをおとりください。

- ●修理等の作業にあたって部品交換した場合は、交換した部品は株式会社イーバランスの所有物として回収させていただき、返却は致しかねますのでご了承願います。

商品の修理、検査依頼、万が一の初期不良、不具合、商品説明、操作方法、 荷物確認などの問題が発生した場合は下記番号へ

サポートセンター

サポートダイヤル 042-631-5357

FAX: 042-631-5359

住所：〒192-0906　東京都八王子市北野町598-11

営業時間：平日10：00～17：00（土日祝祭日は休み）

電話集中している場合は、通話が繋がりにくい、繋がらない場合もございます。 再度お時間をおいておかけ直しくださいますようお願い致します。